

2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年1月29日

上場会社名 株式会社 ホギメディカル

上場取引所

東

コード番号 3593 URL <https://www.hogy.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川久保 秀樹

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 最高財務責任者 (氏名) 藤田 泰介

TEL 03-6229-1300

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	28,719	4.3	2,088	38.7	1,873	42.7	1,438	47.4
2025年3月期第3四半期	30,016	0.9	3,406	2.3	3,269	8.9	2,736	4.9

(注)包括利益 2026年3月期第3四半期 1,604百万円 (-27.1%) 2025年3月期第3四半期 2,200百万円 (-52.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
		円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	66.73		
2025年3月期第3四半期	120.90		

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	94,482	74,481	78.8	3,454.25
2025年3月期	97,895	74,332	75.9	3,447.34

(参考)自己資本 2026年3月期第3四半期 74,472百万円 2025年3月期 74,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 20.00	円 銭 20.00	円 銭 20.00	円 銭 20.00	円 銭 80.00
2026年3月期	23.75	23.75	0.00		
2026年3月期(予想)				0.00	47.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,240	0.3	2,770	27.3	2,590	28.9	2,030	33.5	94.16

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	22,535,463 株	2025年3月期	22,535,463 株
期末自己株式数	2026年3月期3Q	975,751 株	2025年3月期	975,631 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	21,559,799 株	2025年3月期3Q	22,635,124 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における事業環境は、依然として厳しい状況が続きました。医療機関においては、資材や光熱費の高騰に加え、医師の働き方改革が本格化したことによる人手不足や人件費増加といった問題が顕在化し、経常赤字に陥る病院も増加しています。こうした中、短期的には材料費を含むあらゆる領域でのコスト削減が検討されているケースが少なくありません。一方で、中長期的には病院の機能再編を含む構造的改革が求められており、実際に地域単位で手術の集約化が進行しています。こうした病院では、手術室関連業務の生産性向上や稼働率向上が重要な経営テーマともなっています。さらに、2026年度診療報酬本体の改定率がプラス3.09%と決定されるなど制度面での動きも見られる中、医療提供体制の効率化や質の向上に資する取り組みへの投資や経営改善を検討する医療機関もみられます。

このような状況下、最重要顧客であるオペラマスター施設を含む重点施設においても比較的低価格の競合他社製品への置き換えが検討されるなど、競争が激化していることが課題となっていました。これに対し当第3四半期連結累計期間においては顧客基盤の維持・強化を最優先課題とした販売戦略を展開してまいりました。この結果、材料費抑制を求められる厳しい販売状況は続いているものの、オペラマスターの契約件数は前期末比で8件増加するなど、基盤強化に一定の成果が得られました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は28,719百万円（前期比4.3%減）となりました。キット製品の売上高は19,325百万円（同3.3%減）、内「プレミアムキット」の売上高は10,228百万円（同0.6%増）となりました。売上原価は2023年4月より稼働を開始した新キット工場のⅡ期工事の減価償却費が減少した一方で、原材料の仕入価格の上昇等により原価率は66.9%（前年比0.1ポイント減）となりました。販売費及び一般管理費は、人材採用や育成、研究開発、修繕費、DX関連費用などの投資的性質の費用が先行して発生したほか、本社移転や構造改革に伴う一時費用も計上した結果、上昇いたしました。この結果、営業利益は2,088百万円（同38.7%減）となりました。また、当社株式に対する公開買付への対応に伴う一時的な費用100百万円を営業外費用として計上いたしました。以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,438百万円（同47.4%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ3,412百万円減少し、94,482百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金3,720百万円の減少、売上債権1,376百万円の増加、棚卸資産522百万円の減少、為替予約361百万円の増加等により2,419百万円減少し41,781百万円となりました。固定資産のうち有形固定資産は、建物及び構築物の減価償却等による729百万円の減少、機械装置及び運搬具の減価償却等による1,857百万円の減少、土地の売却等による827百万円の減少、建設仮勘定1,502百万円の増加等により、1,790百万円減少し43,972百万円となりました。無形固定資産は、188百万円の増加により565百万円となりました。投資その他の資産は、所有する株式の時価の変動等による投資有価証券487百万円の増加、為替予約328百万円の増加等により、608百万円増加し8,163百万円となりました。この結果、固定資産は52,701百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ3,561百万円減少し、20,000百万円となりました。流動負債は、仕入債務781百万円の減少、未払法人税等1,041百万円の減少、未払消費税等852百万円の減少等により、2,559百万円減少し7,822百万円となりました。固定負債は、長期借入金の返済による1,499百万円の減少、所有する株式の時価の変動等による繰延税金負債424百万円の増加等により、前連結会計年度末に比べて1,001百万円減少し12,178百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,438百万円の計上による増加、剰余金の配当による1,455百万円の減少、所有する株式の時価の変動等によるその他有価証券評価差額金535百万円の増加、繰延ヘッジ損益477百万円の増加、為替換算調整勘定862百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べて148百万円増加し減少し74,481百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の75.9%から78.8%へ増加いたしました。

(キャッシュ・フローについて)

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより17,758百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,576百万円減少いたしました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を1,978百万円、減価償却費を3,946百万円計上し、売上債権の増加1,435百万円、仕入債務の減少726百万円、未払消費税等の減少852百万円、法人税等の支払1,769百万円等がありました。これらの結果、1,800百万円の収入（前年同期は7,702百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出2,913百万円、有形固定資産の売却による収入895百万円等がありました。これらの結果、2,073百万円の支出（前年同期は1,357百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出1,499百万円、配当金の支払1,453百万円等がありました。これらの結果、2,954百万円の支出（前年同期は4,524百万円の支出）となりました。

通期のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、約6,120百万円の収入を予想しております。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得、売却等により約4,380百万円の支出を見込んでおります。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済及び配当金の支払い等により約3,455百万円の支出を見込んでおります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内事業におきましては、重点施設を中心にその経営課題に応える付加価値提案を積極的に推進し、最重要戦略製品である「プレミアムキット」の訴求を行うとともに、更なる新規顧客獲得活動にも積極的に注力してまいります。これら販促活動を通じて、医療安全を確保しながら、厳しい環境で就労されている医療現場の業務負荷を軽減するとともに、手術室の稼働率向上など病院の経営改善までをご支援してまいります。

海外事業におきましては、シンガポールにある販売子会社のホギメディカルアジアパシフィック P T E. L T D. 及びインドネシアの販売孫会社 P T. ホギメディカルセールスインドネシアが、シンガポール及びインドネシアを中心にASEAN（東南アジア諸国連合）各國の基幹病院への製品導入を積極的に展開してまいります。

製造原価におきましては、2023年4月より稼働いたしました新キット工場Ⅱ期の投資に伴う償却費が減少する一方、原材料費の高騰等により、総額では上昇を見込んでおります。引き続きコスト削減や生産性の改善など原価低減のための企業努力を継続しつつ、製造子会社である P T. ホギインドネシアにおいても、生産性の改善に取り組み原価低減を目指してまいります。

営業活動の強化に加え、新規部材の上市やDX商材の拡充など、2024年7月16日に公表した中期経営計画に基づくプログラムは概ね予定通り進捗しております。当社は、引き続き中期経営計画の達成を目指すとともに、中長期的な成長を支える構造改革を推進してまいります。

このような状況を踏まえ、通期の連結業績予想は以下のとおりであります。

(連結業績予想)

売上高	39,240百万円	(前期比 0.3%増)
営業利益	2,770百万円	(前期比 27.3%減)
経常利益	2,590百万円	(前期比 28.9%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	2,030百万円	(前期比 33.5%増)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,005	18,284
受取手形及び売掛金	7,123	7,496
電子記録債権	4,322	5,326
商品及び製品	4,734	4,360
仕掛品	453	445
原材料及び貯蔵品	4,757	4,617
その他	803	1,250
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	44,200	41,781
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,550	20,821
機械装置及び運搬具（純額）	11,736	9,878
土地	9,793	8,965
建設仮勘定	2,226	3,729
その他（純額）	456	577
有形固定資産合計	45,763	43,972
無形固定資産	377	565
投資その他の資産		
投資有価証券	5,982	6,470
その他	1,765	1,884
貸倒引当金	△194	△191
投資その他の資産合計	7,554	8,163
固定資産合計	53,694	52,701
資産合計	97,895	94,482
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,765	3,249
電子記録債務	—	734
1年内返済予定の長期借入金	1,999	1,999
未払法人税等	1,041	—
引当金	576	354
その他	1,998	1,485
流動負債合計	10,381	7,822
固定負債		
長期借入金	11,670	10,170
退職給付に係る負債	553	477
引当金	120	84
その他	837	1,446
固定負債合計	13,180	12,178
負債合計	23,562	20,000

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,123	7,123
資本剰余金	8,294	8,294
利益剰余金	56,552	56,536
自己株式	△3,909	△3,910
株主資本合計	68,060	68,043
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,154	2,689
繰延ヘッジ損益	112	590
為替換算調整勘定	4,098	3,236
退職給付に係る調整累計額	△102	△86
その他の包括利益累計額合計	6,263	6,429
非支配株主持分	8	8
純資産合計	74,332	74,481
負債純資産合計	97,895	94,482

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	30,016	28,719
売上原価	20,119	19,221
売上総利益	9,897	9,498
販売費及び一般管理費	6,491	7,409
営業利益	3,406	2,088
営業外収益		
受取利息	156	125
受取配当金	70	66
受取賃貸料	72	—
その他	46	32
営業外収益合計	345	223
営業外費用		
支払利息	44	81
為替差損	13	41
貸倒引当金繰入額	161	—
投資事業組合運用損	76	207
自己株式取得費用	46	—
賃貸収入原価	71	7
賃借契約損失引当金繰入額	68	—
公開買付関連費用	—	100
その他	0	0
営業外費用合計	482	438
経常利益	3,269	1,873
特別利益		
固定資産売却益	—	104
投資有価証券売却益	1,097	—
その他	—	4
特別利益合計	1,097	108
特別損失		
固定資産売却損	1	—
固定資産廃棄損	4	3
減損損失	529	—
その他	—	0
特別損失合計	534	3
税金等調整前四半期純利益	3,832	1,978
法人税等	1,095	540
四半期純利益	2,736	1,438
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,736	1,438

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,736	1,438
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△761	535
繰延ヘッジ損益	261	477
為替換算調整勘定	△45	△862
退職給付に係る調整額	9	15
その他の包括利益合計	△536	165
四半期包括利益	2,200	1,604
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,200	1,604
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,832	1,978
減価償却費	4,245	3,946
受取利息及び受取配当金	△227	△191
支払利息	44	81
投資事業組合運用損益（△は益）	76	207
為替差損益（△は益）	28	35
有形固定資産売却損益（△は益）	1	△104
投資有価証券売却損益（△は益）	△1,097	—
減損損失	529	—
売上債権の増減額（△は増加）	△758	△1,435
棚卸資産の増減額（△は増加）	291	354
仕入債務の増減額（△は減少）	△186	△726
その他	1,345	△693
小計	8,124	3,453
利息及び配当金の受取額	282	197
利息の支払額	△44	△81
法人税等の支払額	△659	△1,769
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,702	1,800
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,684	△2,913
有形固定資産の売却による収入	3	895
無形固定資産の取得による支出	△61	△190
投資有価証券の売却による収入	1,114	—
その他	269	136
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,357	△2,073
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	10,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,499	△1,499
自己株式の取得による支出	△11,622	△0
配当金の支払額	△1,401	△1,453
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,524	△2,954
現金及び現金同等物に係る換算差額	43	△348
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,864	△3,576
現金及び現金同等物の期首残高	18,623	21,334
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,488	17,758

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、医療用消耗品等の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。